
俺的脳内会議

仮眠

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

俺的脳内会議

【Nコード】

N9938E

【作者名】

仮眠

【あらすじ】

くだらない話をまじめに話す二人の話

（前書き）

この話で語っているのは基本的にボクが思っている妄言です。

もしも、共感してしまったらあなたも変人？

ボクが言いたいことはどっちかというと、もちろん俺の方が言ってる方ですよ。

全ての授業が終わった教室、今日も俺は奴と熱い議論くだらないをする。

「さて、今日俺が納得いかないのが18禁のゲームが18禁であることについてだ！」

熱く、語りだす俺。

「いや、仕方ないだろエロいんだから……」

呆れたように、そしていつものように否定する奴。

「ふふふ、分かって無い、分かって無いよ！明智くん！」

「いや、明智じゃね「そんなことはどうでもいい！」えし……」

「いいか！18禁Ⅱエロって言うのは間違いなのだよ！18禁だろうと感動する話や、熱く燃える話も沢山ある！だからこそコンシューマ化されるのだろう？」

「そうだな、たしかにそれは一理ある。だが、コンシューマ化されることによって子供に良くないと思われる性的描写が使われない。それこそ、18禁から18禁だけを弾いた純粋な感動できる作品に仕上がっているのでは無いのか？」

「甘い！甘すぎるぞ！ワトソン君！」

「ちょっと待て、さっき明智って言ってなかったか！？今度はワトソンかよ！てか俺は、明智でもワトソンでもねえよ！」

「ちっ、のりが悪いな……」

まあいい、だからこそ君は分かって無いのだよ！いいか？まず、純愛がメインの感動ものがあったでしょう。それで、その純愛を表現するのに性的描写が必要だったらどうする？その純愛を表現するには性的描写は絶対不可欠！だが、その表現は18禁となるので使えない！ならば、その表現を抜くのか？たかが性的描写と言うだけで？たったそれだけの理由で生きている人全てに伝えたいと思うほど素晴らしい作品を18歳未満の人には伝えられないのか？そも

そも、性欲と言うのは人間の三大欲求の一つだぞ！それなのに、何故性欲だけはそのように規制をかけられるんだ？睡眠欲は18禁か？食欲は18禁か？違うだろ！三大欲求とは、全部人間が生きていく上では必要なものなんだ！それなのに………それなのに何故性欲だけ規制されなくてはならない？性犯罪が発生しないようにか？それだって、性欲って言うものは自然と生じるものだろう？だったら、規制したところで意味が無い。いいか？俺が言いたいのは、エロいってだけで規制するのが良くないって言ってるんだ！例えば、主人公や登場人物が明らかな犯罪行為をしたり、エロがメインで純粋にエロいだけのものって言うなら規制されても文句はねえよ。でも、理想的な純愛ものとかだったら、むしろこう付き合うべきだ的な感じで良い見本になると思うわけよ！あと、さっきも言ったが、良い物はどんな人間にも平等に知る権利があると思うのですよ！」

「……………」

「はあ、はあ、はあ」

「まあ、言いたいことは分かった。つまり、性的描写があっても素晴らしい作品だから18禁にすべきでは無い、例えるなら、裸の女性の絵だとしても、ただエロい目的、つまり性的興奮を求めるための絵は18禁にすべきだが、芸術的価値がある絵ならば例えそれがエロくても18禁にすべきでは無いってことだな？」

「はあ、はあ、はあ、ん？よく分からんがそう言うことかな？」

「だがな、それでも絶対に18禁のゲームは18禁のままだぞ」

「何故だ！？お前は理解してくれたのだろう？ならばきつと世界中の人も理解してくれるさ！」

「いいか？俺はさっき、芸術的な価値があるならエロい絵でも18禁にすべきじゃ無いって例えをだしたな？」

「ああ……………」

「それは、たぶん認められるはずだ。エロい絵でも芸術的な価値があるなら18禁にすべきじゃ無いんだ」

「じゃあなんでゲームはダメなんだよ！？」

「ゲームだからだ。例え、どれだけ素晴らしくても、それは、やっぱりゲームなんだよ。芸術って言うのはもう世界中で認められてる。どんな人間でも、芸術に関する興味などは違っても、何かしらの関わりがあったりするもんだ。だが、ゲームはどうだ？ やってるのは裕福な国の人間ぐらいだ。その中でもさらに一部。ゲームに関わらずに死んでゆく人間なんて五万という。つまり、ゲームでは、どれだけ素晴らしくても世界的に、いや日本の法律だからせめて日本中に認められるぐらいのものじゃ無いと無理だろう」

「なるほどなあ……………」

でも、逆に言えば日本中に認められるような18禁のゲームが出れば、それは18禁と全く変わらないまま全年齢として出るかもしれないってことだよなあ……………」

「ただの可能性だけだな。」

「それも極端に低い」

「まあ、いいさ。じゃあ、次の話に行くぞ！ 次は」
ガラッ

……………

「あらあ？ まあだ帰って無かったのお？ 早く帰らないと〜お・し・お・きしちやうぞ〜♪」

おおっと、どうやら今日はこの辺で幕引きの様だな。

さて、奴よりも先にこの教室を出ないとお・し・お・きされてしまいうからなあ……………」

「おい、悪いけど先に帰るぞ……………つていねえ!？」

「ああ、貴方といつも一緒にいる彼ならあ、私がここに来る少し前に出て行ったわよ〜♪」

「あ……………そうですか。じゃあ、俺も帰りますね」

大丈夫だ。このまま神速で帰れば……………ガシッ

「だ〜め、貴方はこれからお・し・お・きの時間よ〜♪」

ああ、今日も逃げられはしないんですね。神様……………」

「せめて、軽めにして下さいね」

「善処するよ〜♪」

俺…………明日学校来れるかなあ？

（後書き）

続きが読みたいって人は（この場合は続きって感じじゃ無いか？）感想にでも書いてくれれば気が向いた時に何かしらの議題を見つけて書きますよ。

ちなみに、他のやつを読んであれの最後だけ読みたいって人がいたら言って下さい。間は全く考えていませんが最後だけは考えていますのでw

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9938e/>

俺的脳内会議

2010年10月8日15時31分発行